

Ja-Net

October 2013 No.67

季刊ジャネット

Ja-Netは Japanese Networkの略です。「にはんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーエーネットワーク

Contents 目次

2013 年 10 月 25 日発行

- View from the Other Side 3
チャナカ・ガマゲさん(スリランカ)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
愛知県名古屋
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
インドネシア ジャカルタ
- 教材紹介 6
『日本語初級 1 大地漢字学習帳』
『みんなの日本語初級 II 第 2 版絵教材 CD-ROM ブック』
- なんでも情報 BOX 8

巻 頭
寄 稿

人と人をつなぎ、 「教える」と「学ぶ」をつなぐ教科書

平高史也

慶應義塾大学教授



「教える」と「学ぶ」をつなぐ教科書のこれから

7月27日にスリーエーネットワークの設立40周年記念行事『「教える」と「学ぶ」をつなぐ教科書のこれから』が行われました。日本語教材の出版を主たる事業にしている同社にふさわしく、日本語教科書の過去、現在、未来を通して、「教える」こと、「学ぶ」ことをふりかえり、考える格好の場となりました。

はじめに関正昭さん(前東海大学国際教育センター)が「日本語教科書の変遷について」という基調講演で、明治期から現在までの日本語教科書の変遷と各教科書間のつながり(系譜)について話されました。そして、ご自身が関わられた教科書編纂を通して、

一つの教授法に固執することはないが、教科書にはゆるぎない理念や信念が必要であり、確かな日本語教育文法観、広い関連諸科学の理論、教授者・執筆者の豊かな経験が求められること、そして、「何を教えるか」とともに、「何を教えないか」も考えておくこと、学習者の協力や試用と修正の間の行き来が不可欠なことなど10点にまとめられました(これらの10点についてはJa-Net No.66の関さんの「巻頭寄稿」をご覧ください)。

後半のパネルディスカッションでは、まず石沢弘子さん(目白大学日本語教育センター)がAOTSを中心に歩んでこられた40年の日本語教員としてのお仕事をふりかえり、教科書に関して日本語教師の役割は「え

らぶ」、「つかう」、「つくる」、「つなぐ」の4点に集約されるとしました。

次に一条初枝さん(ヨシダ日本語学院)は、学習者が変われば、授業も教科書も教師も変わることを、教師と学習者、学習者と学習者、教師と教師をつなぐのが教科書で、そこに共通の思いがあること、そして、学習者の心のうちに寄り添うことのできる想像力を、学習者からも教師からも引き出すのが教科書の未来だと述べました。

3番目のパネリストの島田徳子さん(武蔵野大学)は「教科書のその先の学びのデザイン」と題して、①本来は日本語の教科書でないものを、どのように教科書として活用するのか、②教室と教室外でそれぞれ何を、どのように学ぶか、という2つの問いを立てま



した。そして、①については Can-do を活用した目標設定が有用であること、②については説明型の講義をオンライン教材化して宿題にし、従来宿題だった応用課題を教室で対話的に学ぶ反転授業が新しい可能性をもっていることを、ご自分が実践しているビジネス読解を例に話されました。

最後に T. K. Tan さん(香港大学專業進修学院)は 2,500 名ほどの学習者を抱える同学院のカリキュラムの概要を説明した後、5 年ほど前から開発し、使用している教科書に準拠した E ラーニング教材を紹介しながら話してくださいました。かなの定着から文法練習、日本の豆知識など内容が多岐にわたり、アニメなども取り込んで、楽しみながら学習できるように作られており、教室作業を補完し、日本語学習環境を充実させようという試みとして、興味深いものでした。

フロアーの方々からの質問やコメントも多く、日本語教科書の過去、現在、未来について、さまざまな側面から論じ合うことができました。

多様化する日本語教育と学習環境デザイン

さて、この 40 年の社会の動きの中で日本語学習者も多様化し、日本語教育も大きく変わりました。この間、さまざまな日本語教科書が世に出され、数も種類も激増しています。もっとも、関さんのご講演によれば、戦前の満洲国などでも、いろいろな目的に応じて多様な教科書が作られていたそうです。そうした流れの中で、日本語教科書はどのような役割を果たし、使われるべきなのかを、あらためて考え直してみましよう。

それには、学習環境のデザインという視点から見ていくのがよいのではないかと思います。学習環境のデザイン、あるいは設計は、まず、自分が関わる(作っていく)学習環境にはどのような問題があるのかを見きわめることから始まります。次に、その問題を解決するための案をいくつか作るという段階があり、ここで教科書や教材にどのような役割を与えるのかを考えることになりま

す。そして、既存の教科書の中から適当なものを選んだり、あるいは、新しい教科書を開発したりして、使用します。最後に、使った教科書の評価を行い、それをもとに学習環境をよりよいものにしていくというプロセスが考えられます。

この一連のプロセスでは、教科書を学習環境の中にどのように位置づけるかということが重要なポイントになってきます。学習環境を考えるには、学習の場所(国内外)、教室の形態(日本語学校・大学・地域の日本語教室)、学習者の属性(留学生・ビジネスパーソン・「生活者としての外国人」)、学習目的やニーズ(研究・ビジネス・生活日本語)、レベル(初・中・上・超級)、教授法(文法訳読法・直接法・コミュニケーションアプローチ)、学習法(グループワーク、ピアラーニング、e-learning)など、いろいろな要素を考慮に入れなくてはなりません。そして、そのような要素をどのようにアレンジして学習環境をデザインしていくか、その中で教科書にどのような役割を持たせるのかといった視点から考えていく必要があると思います。

学習環境デザインについての2つの見方

しかし、今回の講演とパネルディスカッションで、教科書をめぐる学習環境デザインを考える際には二つの見方があることがわかりました。

一つは上で述べたような、要素中心主義的な見方で、学習環境に関わるさまざまな要素を掛け合わせていった先に生まれる環境です。要素が織りなす学習環境とでもいえるでしょう。たとえば、「国内」の「日本語学校」で、「大学への入学」を目的にした「留学生」を対象とした「初級」のクラスを作るというようなケースです。教科書の外に広がる、教科書を取り巻く学習環境ということもできるでしょう。

もう一つは教科書が、使用者である教授者と学習者の心の中へ入り込み、想像力(創造力)を生み出し、知識や世界観を変え、人間形成のきっかけとなるという見方です。教科書を使うことによって人間形成が進んだ使用者(教授者・学習者)が他の使用者とつながり、学習環境を組み替えたり、新たな環境を作ったりしていきます。こちらは教科書が紡ぎだす学習環境とでもいったらよいでしょうか。教科書は、それを使って、文法や語彙を学び、言語コミュニケーションを展開す

るばかりでなく、人間を作っていくものにもなるものなのです。

「教える」と「学ぶ」をつなぐ教科書

その意味では、教科書は、それを核にした教師と学習者、学習者と学習者、教師と教師のつながりを生み出す触媒のようなものだといえます。このようにして、教科書は一人一人の人間を育て、教科書によって育てられた人間どうしがつながることによって、新たな世界が作られていくのです。

初級の文型や語彙を使えるようにすることを目的とした教科書で、このような目標を達成するのは困難かもしれません。やはりここでは文型や語彙をきちんと導入して練習し、定着をはかることが第一で、教える側としてはその点に集中せざるをえません。しかし、少しレベルが上がれば、ディスカッションや読解の練習のために教科書を使うこともあるでしょう。また、新聞記事やウェブサイトなどの、いわゆる生教材を使って授業をするときには、本来は教科書ではない素材を使っているわけです。そんなときには、ディスカッション表現や中級の語彙ばかりを教えるのではなく、その素材をもとにして議論したり、考えたりすることのできる内容が求められます。そういうときにこそ、教科書が人と人をつなぎ、「教える」と「学ぶ」をつなぐものであることを頭の片隅に置いておきたいものです。そうすれば、また味わいのある教科書を作ったり、選んだりできるのではないのでしょうか。



平高史也(ひらたか・ふみや)

慶應義塾大学総合政策学部教授。東京外国語大学大学院外国語学研究科ゲルマン系言語専攻修了。ベルリン自由大学文学博士。共編著に『日本語教育史』、『多言語社会と外国人の学習支援』『外国語教育のリ・デザイン』(共に慶應義塾大学出版会)、『日本語中級 J301』『日本語教育叢書「つくる」読解教材をつくる(スリーエーネットワーク)』など。

大変な時期は大きく変わる時期

日本の文化や価値観を身につけることで日本を楽しむ

最初は日本が嫌で……

2003年3月に来日し、現在、会社員として働いています。私が日本に来たきっかけは少し珍しく、私の母親の強い希望でした。私は4人兄弟の末っ子で若干やんちゃなことがあり、勉強や自分の将来のことほとんど考えていませんでした。それを心配した母親が私を独立させる為に留学をさせようと強く思った事が来日のきっかけです。

最初は日本語も話せず、そのせいでアルバイトも見つからなくて、自分の弱さに悩む日々を過ごしていました。日本人も冷たく感じ、毎日のようにいつ帰国しようかと考えていました。このような嫌な気持ちでいた私ですが、日本語学校で勉強をし始めて、日本語学校の先生や周りの日本人と親しくなると、そんなに日本人も冷たくないということがわかり、もっと日本人や日本の文化を知りたいと思うようになりました。やはりどのような理由で来日しても、来日してから日本の生活を楽しむ為に日本の文化に慣れなければいけないと実感しました。

日本の文化が知りたくて

このようにして、私は日本語に興味を持ち日本語を勉強したいと思いました。そこで、最初に自分の文化と日本の文化の違いを理解する努力をしました。今までの価値観を忘れて、日本の文化に驚きながらもその文化を新たに身につけるのは大事なことです。自分の国の価値観と考え方のままで、日本で暮らすことは非常に難しいと思います。また、文化に興味を持つことで日本の生活を楽しむことができ、日本語をもっともっと勉強したいと思いました。また、学校で習う言葉を出来るかぎり早く使うようにしたり、いちばん心がけたのは、出来る限り普段の考え事を日本語でするようにしたことでした。そして、日常生活の中で目に入る看板やチ



チャナカ・ガマゲ

Kananke Gamage Chanaka Duminda

1979年生まれ。

スリランカ民主社会主義共和国コロンボ県アンゴラ地区出身

2003年に日本語学校入学を機に来日。2005年大学卒業。

現在は株式会社 DHL ジャパン勤務。妻と二人の子供と千葉県に暮らす。

ラシなどを読もうとする努力が大切だと思いました。段々チラシや広告が読めるようになって楽しい気分になります。その後、いつからか日本語で夢を見るようになり、これが自分の日本語レベルが上達し日本の生活にも慣れてきたというサインでした。

日本の文化に慣れるために

日本語を話せるように努力した結果、段々日本語が上手くなり来日6ヶ月後にやっとスーパーでのアルバイトを見つけることが出来ました。この時は生活と学費でギリギリの収入で、友達アルバイトをいくつも掛け持ちしていましたが、そのようにすると仕事も、勉強も上手く出来なくなると感じていたので、まずはスーパーの仕事だけに一生懸命になろうと決心しました。

アルバイトでは、まず日本人の仕事ぶりを観察しましたが、やはり日本人は非常に

真面目だと強く感じました。時間を守り、37度台の熱でも出勤し無断欠勤が非常に少ないのです。また、工作中に手を休めないことが日本では非常に大事だと感じました。外国人である私も同じようにし、上司に認めてもらうように努力しました。その結果すぐ給料がアップして、その後リーダーになることも出来ました。また、どの仕事でも最初は洗い場等の非常に単純な作業から始まるかと思います。特に外国人だと、仕事に対してどんな考え方をしているのか分からないことが大きな理由だと思います。やはり職場で問題を起こす外国人も少なくはないですが、自分の努力と意思を上司に見せたら良い結果になると私の経験から言えます。

このように日本の文化や仕事にも慣れ、大学進学後は大学での勉強を頑張りました。就職活動で10社ぐらいの入社試験を受け、今の会社と巡り合うことが出来ました。今は(株) DHL ジャパンの輸入通関部に勤めています。お客様と話す時に正しい敬語を使いなすことに非常に苦労していますが、同僚の協力や励ましもあり楽しく仕事をしています。仕事以外でも、日本の文化にも慣れ2人の子供にも恵まれ楽しい生活を送っています。

これからも諦めないで

これからは今の会社で昇進して行くことが目標であり、一人でも多くの外国人に私の考えを伝えることが私の希望です。まずは今の仕事でスキルアップするために、国家資格である通関士の資格を取得するための勉強をしています。

何年経っても日本での生活には、様々なところで大変な試練があるはず、ですが漢字の通り「大変」な時期とは自分が「大きく変わる」時期だと思いますので、諦めずに頑張っていきたいと思っています。



日本語ご紹介

国内編

愛知県 名古屋市



日本で暮らす外国人のための 「5分で覚える防災用語」

NIC日本語の会 伊藤千恵美

「NIC日本語の会」は(公財)名古屋国際センター(NIC)の中にあるボランティアグループのひとつです。60余名のボランティアが在籍し、「日本語支援による国際交流」を目指して活動しています。教室は1ターム3ヶ月10回、年間3ターム会話基礎、会話Ⅰ～Ⅲの4レベルと文字クラスがあります。日曜日の10:00から15:30まで、1コマ90分、1日の時間帯を3つに分け、全11クラスを開講、現在の学習者数は約200名です。

5分で覚える防災用語

日本語の会では2009年1月から、「災害や防災」について知ってもらおう活動を始めました。自作「防災テキスト」の導入を決めたのは中越沖地震の翌年の2008年でした。テキスト作成にあたり、先ず何を伝えていくのか、1ターム10回の教室で、無理なく取り入れていくにはどのような形がよいのか等、有志で何度も話し合いの場を持ちました。

そこで私たちが選んだのは「毎回5分、その課の授業の始め(あるいは最後に)防災に関することばに触れる」というものでした。タイトルは「5分で覚える防災用語」です。長期間教室に来てくれる学習者も多いので、教室に来れば、その都度防災用語に触れることになります。繰り返すことで、「防災意識」を持ってくれることを期待しました。

これはA4サイズの紙の両面、それぞれに5個のマスがあり、1マスには日本語で書かれた防災、災害に関する用語と、そのローマ字、それと外国語での意味、イラストが書かれています。1マスに3-6語は入っています。また外国語の部分は、現在8ヶ国



防災用語を楽しく紹介



防災テキスト「5分で覚える防災用語」

語(英語・スペイン語・ポルトガル語・フランス語・中国語・韓国語・フィリピン語・ベトナム語)となっています。この1マスを各回の授業時5分間で紹介します。1ターム10回の教室終了後には、折りたたんで手帳や財布の中に入れ、必要な時に見られるように携帯可能なサイズを考えたものです。

教室で防災用語を紹介するときには母語とイラストで意味は分かってもらえますが、教室に来る学習者の母語に対応する全言語をカバーできる訳ではありませんし、ローマ字がついていても、学習者がその通りに発音できるとも限りません。また、聞いたことばをすぐに理解できるとは限りませんので、日本語の音とともに慣れてもらうことに重点を置いています。5分間でその中のひとつでも覚えてもらえたら、災害時に何かの役に立つかもしれない、日本語が分からないことで命を落とすことにならないようにとの願いが込められています。

ここで紹介している「用語」は取えて「や

さしい日本語」に言い直すことをしていません。これは基本的に、「災害時に聞こえてくるであろう言葉に慣れてもらう」ということを主眼としていますので、難しいことばもそのまま聞いてもらうことにしています。実際の災害の場面では、「やさしい日本語」はあまり聞こえてこないということを想定したものです。ここに出てくる主な用語は、災害の名前、予報や警告に関することば、避難時のことば、普段の備えに関するものなどです。中でも「緊急地震速報」は放送をそのまま聞くなど、より緊急性の高いものやメディアでよく耳にする用語から先に提示しています。

補助教材として、カラーの「絵カード」、「緊急地震速報の音源CD」、「非常持出袋の実物」を用意しました。ボランティア用には利用の留意点を作成し、レベル別の取り入れ方について勉強会を開きました。また、市の防災センターで地震体験に参加するなど、学習者と共に学ぶ機会を持つこともしています。

これからも手直ししながらより役立つものへ

最近行った学習者へのアンケートでは、「防災学習」について「大変良かった」49%、「よかった」47%との回答を得ました。テキストは必要に応じて修正しながら使用していますが、突然の災害には日本人も戸惑うもので、常に情報を集めておく必要性を感じています。これからも見直し、より役立つ内容に改めながらこの活動を続けていきたいです。

日本語の会では、ご要望の方・教室には「5分で覚える防災用語」をお渡ししています。これが一人でも多くの在住外国人のお役に立つことがあれば幸いです。

「5分で覚える防災用語」問合せ先:(公財)名古屋国際センター <http://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/aramashi/contact>



日本語ご紹介

海外編

インドネシア ジャカルタ

インドネシアにおける 看護師・介護福祉士候補生への 日本語予備教育

フリーランス日本語教師 上杉祐子

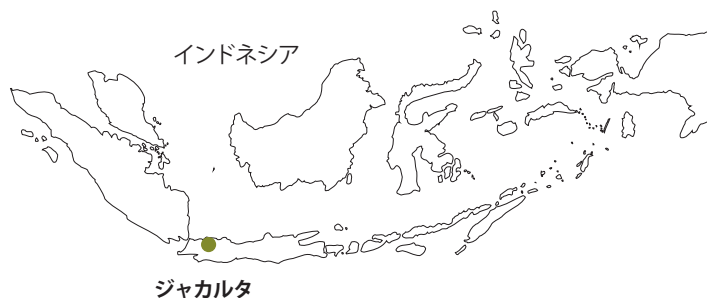
6ヶ月間の日本語研修

日本・インドネシア経済連携協定(EPA)に基づき、2008年よりインドネシアから看護師、介護福祉士の候補者が来日するようになりました。看護師は3年、介護士は4年以内に国家試験に合格することにより、日本での継続した就労ができます。スタート時の第1期～第3期までは職場に配置される前に、6か月間の日本語研修が行われていましたが、それに加え、第4期からは自国で日本語予備教育が実施されるようになりました。2013年の第6期にはジャカルタ特別州で6か月間の日本語予備教育が行われたのです。

インドネシアは親日的な国民性に加え、アニメなど日本のポップカルチャーも人気が高く、国際交流基金の調査(2012年)によると、日本語学習者数は韓国を抜いて世界第2位。その多くは高校の選択外国語履修者ですが、日本語教師を養成する大学もインドネシア各地にあり、日本語教育の基盤整備が積極的に行われてきた背景があります。また、インドネシア人は医療・介護の分野において、ケアを必要とする人々に「寄り添って」「コミュニケーションする」ことが得意との定評があります。

コースデザイン三つの観点

2012年12月14日、ジャカルタにあるインドネシア政府の提供する語学教員研修所(P4TK)には来日前の日本語予備教育を受ける候補者たちが集まりました。選抜に際しては候補者と日本側の施設との「マッチング」が考慮されています。プレイスメントテストによって10クラスに分けられ、初心者6ク



候補者の発表では「インドネシアの独立」をテーマに大熱狂！



クラス対抗の朗読会でも素晴らしいパフォーマンスを披露

ラス、既習者4クラスでという構成でした。

日本語教師は主任・副主任も含めて日本人が22人、インドネシア人教師12人が配置されました。教師は5チームに分かれ、各チームが2クラスを担当。2013年6月13日の修了式に至るまでの6か月間、チーム内の協働作業は、授業や教務に限らず多方面に及び発揮されました。

現地での日本語予備教育は、来日後の生活や社内研修に必要な日本語能力とともに、社会文化能力を身につけることを目指しています。メインテキストとして『みんなの日本語初級』『みんなの日本語中級』が使用されています。これらは(1)日本語(2)自立学習支援(3)社会文化理解の三つの観点からコースデザインされています。

自己学習の習慣を身につけ、候補者が自分で学習計画を立てたり、学習後の振り返りをしたりできるように、日本語ポートフォリオも活用されています。

社会文化理解は主に土曜日に実施され、日本事情・日本語運用・看護介護事情の講義だけでなく、「調べ学習」「朗読会」など、候補者たちが協力して発表する場も設けられました。他にも、候補者が自主的に学生会のような組織を運営していました。

日本の職場、本当のスタートに向かって

候補者たちはインドネシア政府の提供する語学教員研修所(P4TK)の中にある寮に住

み、三食を共にして、勉強から遊びまで常に行動を共にしました。時には悩み、落ち込むこともあったのですが、同じ目標に向かっていくからこそ励まし合い頑張っていたようです。6月26日に来日後、一般財団法人海外産業育成協会関西研修センターで日本語や専門分野の研修を重ね、同年12月には日本全国の病院や介護施設へ移って働きはじめます。その時が本当のスタートラインです。職場にも研修担当者がいるものの、取り組み内容は様々ですから、そうした現場において、日本語力だけでなく、受け身でない本人の意思による「自律学習」に向かう姿勢は、国家試験対策の勉強に必ず役立つことでしょう。

EPAに基づく看護師、介護福祉士候補者がその他の外国人専門職と大きく異なるのは、国家試験の合否が就労の継続を左右する点です。

筆者(上杉)は第1期から日本語支援に関わり、第6期では事前日本語研修の講師を務めました。インドネシアだけでなく、同じカリキュラムで進められているフィリピン、2013年度から始まったベトナムにおいても、EPAという国家事業において日本語教育が重要な役割を担っていることを、候補者との関わりにおいて確信しています。

来日した候補者155名が日本の医療・介護分野で活躍することを期待しています。

教材紹介

日本語初級 1 大地 漢字学習帳 〈英語版〉

中西家栄子・武田明子 著
本文 138 頁 1,470 円 (税込)



効率的に語彙と漢字を学習！

獨協大学
中西家栄子

本書は、『日本語初級 1 大地 メインテキスト』に準拠した、非漢字圏の学習者を対象として漢字語彙の習得を目標に作成された学習帳です。漢字学習の負担を軽減し、かつ効率的に学べる方法として漢字学習と語彙学習の一体化を図っています。複合語であれ単純語であれ、画数や難易度順にこだわらず『メインテキスト』の各課ごとに漢字語彙を取り上げ、読みと意味と形、文中での使い方を学びます。

本文は、「ことば」、「かんじ」、「よみかた」、「いみ」、「パーツ」、「れんしゅう」、「かんじをつかったことば」、最後にその語を使った短文で構成されています。「かんじ」、「よみかた」、「いみ」には構成要素である漢字1字ごとの「形・音・義」を示し、「かんじをつかったことば」では同じ漢字を含む他の複合語など、漢字の用例を紹介しています。そうすることで新出の複合語に既習漢字が使われている場合、その意味や読みをある程度推測でき、漢字語彙の拡充になることを期待しています。ちなみに、用例は『メインテキスト』に出てくるものを中心に選んであり、予

習・復習にもなります。

また、語彙単位での提示により、例えば2課で「定食」、3課で「食堂」、6課で「食事をします」、7課で「食べ物」と、「食」が複数回出てくるので、反復学習にもなります。「パーツ」では、漢字をカタカナに準じた要素で提示し、字形認識の活性化と記憶維持を図っています。「れんしゅう」ではパーツの提示順に従い、少しですが、書き練習ができるようしました。

漢字1字の意味や「よみかた」に関しても、網羅的に提示するのではなく、その課での用法に限定してあります。学習の負担を軽減し、学びやすくすることで学習動機が低下しないように工夫しました。

『メインテキスト』で紹介している授業案は語彙学習から始まります。漢字語彙の学習によって、教科書中の様々な活動がスムーズに進み、コミュニケーション能力の育成にもつながることを願っています。漢字を効率的に習得したいと望む学習者の皆さんに、本書を活用していただけたら幸いです。

『日本語初級 大地』ラインナップ

＜日本語初級 1 大地＞

メインテキスト		2,940 円 (税込)
文型説明と翻訳	英語版	2,100 円 (税込)
	中国語版	2,100 円 (税込)
	韓国語版	2,100 円 (税込)
基礎問題集		945 円 (税込)
教師用ガイド「教え方」と「文型説明」		2,940 円 (税込)

＜日本語初級 2 大地＞

メインテキスト		2,940 円 (税込)
文型説明と翻訳	英語版	2,100 円 (税込)
	中国語版	2,100 円 (税込)
	韓国語版	2,100 円 (税込)
基礎問題集		945 円 (税込)
教師用ガイド「教え方」と「文型説明」		2,940 円 (税込)

＜補助教材＞

書籍として販売はされていませんが、当社 HP より自由にダウンロードして使用していただける補助教材を用意しています。

<http://www.3anet.co.jp/ja/1209/>

語彙訳では、インドネシア語訳、タイ語訳、ベトナム語訳の3言語を用意しています。また、お役立ちリンク集では、著者お勤めの授業準備の際に使える便利なサイトを紹介しています。『日本語初級 大地』に限らず、活用できるリンク集です。

『日本語初級 大地』語彙訳

インドネシア語訳 (1のみ)

タイ語訳 (1のみ)

ベトナム語訳 (1、2)

『日本語初級 1 大地』お役立ちリンク集

みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 絵教材 CD-ROM ブック

スリーエーネットワーク編著

本文 61 頁 3,150 円(税込) CD-ROM1 枚付



『みんなの日本語 初級第2版』では、『みんなの日本語初級 B4 サイズ絵教材』『みんなの日本語初級携帯用絵教材』として販売していた絵カードを CD-ROM として販売しています。データでの提供となりましたので、これまでどおり絵カードとしての使用はもちろん、必要な部分を取り出してテストやプリント教材などの作成にも自由に使っていただけます。

なお、本書のイラストをインターネット上に掲載するということはお断りしております。教室内でのみ、ご自由にお使いください。

『みんなの日本語 初級第2版』

<みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版> 好評発売中！

本冊	2,625 円(税込)
本冊 ローマ字版	2,625 円(税込)
翻訳・文法解説 英語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 中国語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 スペイン語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 ポルトガル語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 ベトナム語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 イタリア語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 ドイツ語版	2,100 円(税込)
翻訳・文法解説 ローマ字版【英語】	2,100 円(税込)
標準問題集	945 円(税込)
書いて覚える文型練習帳	1,365 円(税込)
漢字練習帳	945 円(税込)
絵教材 CD-ROM ブック	3,150 円(税込)
導入・練習イラスト集	2,310 円(税込)

みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版

©2012 by 3A Corporation

Minna no Nihongo

絵教材CD-ROMブック

スリーエーネットワーク

をクリックすると、ファイルが開きます。

▶ 課 から探す

第1課

第2課

第3課

第4課

第5課

第6課

第7課

第8課

第9課

第10課

第11課

第12課

第13課

第14課

第15課

第16課

第17課

第18課

第19課

第20課

第21課

第22課

第23課

第24課

第25課

▶ 品詞 から探す

動詞

4～11課

13～16課

17～20課

21～25課

形容詞

名詞

1～5課

6～9課

10～15課

16～25課

表現

▶ ことば から探す

語彙検索ツール

ご使用に関する注意

右のボタン(例: 動詞)をクリックしても、ファイルが開かない場合、コンピューターをインターネットに接続した状態で以下のアイコンをクリックして、最新のAdobe Readerをダウンロード、インストールしてください。

Get Adobe Reader

1. 本CD-ROMに収録されたイラストをウェブ上で利用することは固く禁じます。また、他の出版物や電子教材などに転載等をする著作権の侵害となります。

2. 本CD-ROMのコピーは固く禁じます。

『初級Ⅰ』のCD-ROMのトップ画面

<みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版>

本冊	2,625 円(税込)	発売中
翻訳・文法解説 英語版	2,100 円(税込)	12 月発売予定
翻訳・文法解説 中国語版	2,100 円(税込)	1 月発売予定
翻訳・文法解説 ベトナム語版	2,100 円(税込)	12 月発売予定
標準問題集	945 円(税込)	発売中
書いて覚える文型練習帳	1,365 円(税込)	12 月発売予定
絵教材 CD-ROM ブック	3,150 円(税込)	12 月発売予定
導入・練習イラスト集	2,520 円(税込)	発売中

『みんなの日本語 初級絵教材』をそのままお使いになる場合

初版の『B4 サイズ絵教材』『携帯用絵教材』を第2版の授業でお使いになる場合、追加されているイラストがあります。追加分は当社 HP からダウンロードしていただけますので、ご活用ください。

<http://www.3anet.co.jp/information/3396/>

なお、各課の語彙の提出順は初版と第2版とでは異なりますので、お気をつけください。『初級Ⅱ』につきましても、書籍発行に合わせて公開予定です。

書籍品切れについて

『みんなの日本語 初級』の初版につきましてはすでに以下の書籍が品切れです。

みんなの日本語 初級Ⅱ 漢字韓国語版

みんなの日本語 初級Ⅰ B4 サイズ絵教材



なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて税込価格です

日本語初級1 大地 漢字学習帳 <英語版>	11 月発行予定	1,470 円(税込)
みんなの日本語 初級I 第2版 翻訳・文法解説インドネシア語版	12 月発行予定	2,100 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 絵教材 CD-ROM	12 月発行予定	3,150 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 書いて覚える文型練習帳	12 月発行予定	1,365 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 翻訳・文法解説英語版	12 月発行予定	2,100 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 翻訳・文法解説ベトナム語版	12 月発行予定	2,100 円(税込)
みんなの日本語 初級II 第2版 翻訳・文法解説中国語版	1 月発行予定	2,100 円(税込)

40 周年記念イベント開催いたしました！

7月27日(土)、当社40周年記念イベント「「教える」と「学ぶ」をつなぐ教科書のこれから」を海外産業人材育成協会東京研修センターにて開催いたしました。

ご応募いただいた皆様をはじめ100名以上の方にご来場いただき、無事終了することができました。ご来場の皆様、ご協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

基調講演では関正昭先生に日本語教科書の変遷についてお話しいただきました。続くパネルディスカッションでは平高史也先生をコーディネーターとして、パネリストの先生方に日本語学校、大学などさまざまな現場で今、どのような日本語指導が行われているのかを中心にお話しいただきました。これからの日本語教育、日本語学習環境を考えるきっかけになる内容だったのではないかと思います。(詳細は巻頭寄稿で平高先生がご紹介くださっています。)

また、会場の一部では、『にほんごのきそ』をはじめ、当社が40年間で発行してきた書籍をすでに販売していない書籍も含め、展示いたしました。懐かしい思い出話に花が咲いたり、すでに販売していない書籍を手にとりいただけたりでできたようです。

当社の社員は日本語教材を出版していても、それを使っている学習者や先生方と直接接する機会は非常に少なく、その意味でも、今回のイベントは皆様と社員をつなぐ機会としてもとても貴重なものでした。本当にありがとうございました。

今後も何らかの形で、皆様と一緒に日本語教育について考える機会を作っていけたらと思っています。

『FUJITSU's Guide to Japanese いろはに富士通』プレゼント！

富士通株式会社のオリジナル日本語初級教材『FUJITSU's Guide to Japanese いろはに富士通』は同社が作成した「日本語ファン」「富士通ファン」を増やすためのオリジナルアイテムです。

富士通株式会社が日本の会社であることは海外ではまだ十分知られてはいないとのことで、日本語教材を通じて富士通が日本の会社であることを印象付けるとともに、本文中のコラムでどんな製品、サービスを提供しているのかを紹介しています。会話の

場面にも富士通の様々な施設が登場します。

もちろん、日本語教科書としても初級の簡単なやり取りをしつかり学べます。富士通では社内の外国人従業員向けの日本語教育に、顧客へのサービスにと活用するため多言語展開も検討中です。今後の展開が楽しみなこの教材ですが、残念ながら非売品です。そこで、Ja-Net 読者の皆様30名に抽選でプレゼントいたします。

応募締切：2013年11月29日(金) 必着

問合せ：TEL：03-5275-2722

応募先：スリーエーネットワーク営業広報部

FAX：03-5275-2729、E-mail：kouza@3anet.co.jp

102-0083 東京都千代

田区麹町3-4トラス

ティ麹町ビル2F

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください。



スリーエーネットワーク・凡人社 合同企画 創立40周年記念フェアイベント in 東京

『みんなの日本語初級第2版』の教え方—非漢字圏学習者への教え方とは？—

最近、非漢字圏の日本語学習者の来日が増加しています。漢字圏と非漢字圏で教え方は違うのか？ どう教えれば非漢字圏には効果的なのか？

そんな今だからこそ、改めて『みんなの日本語初級』の基本的な教え方に立ち返ってみませんか。「みんな」とついているとおり、『みんなの日本語』は漢字圏も非漢字圏も関係なく使っていただける教科書です。導入、練習それぞれでの押さえるべきポイントなど、日々の授業でやっている初級指導の基本について、教科書を活かす適切な方法をもう一度確認します。

日時：2013年12月21日(土) 14:00～16:00

講師：田中よね先生

(『みんなの日本語初級第2版』執筆協力者)

会場：TKP 麹町駅前会議室ホール8A

(東京都千代田区麹町)

http://www.kaigishitsu.jp/room_koujimachi_ekimae.shtml

定員：100名

参加費：無料

申込み：お名前、連絡先、ご所属を明記の上、下記宛にお申込みください。

問合せ / 申込み先：凡人社 麹町店

TEL：03-3239-8673 FAX:03-3238-9125

E-mail：kojimachiten@bonjinsha.com

WEB：http://www.bonjinsha.com/kojimachi/

・お申込み受付の際に予約受付番号をお伝えしますので、必ず番号をお控えください。

当日その番号のない方はご参加いただけない場合がございますので、ご注意ください。

主催：スリーエーネットワーク・凡人社

お詫びと訂正

前号 Ja-Net66 号にタイトルに誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

p.5 あちこち日本語ご紹介海外編

Japanese Language Studio 校長 メルキ能子先生

誤：近くて遠い国—新しい時代に向かって

正：ハイジの国からこんにちは！

改めて、お詫びいたしますとともに、今後このようなことがないように、細心の注意を払って編集いたします。

Ja-Net No. 67 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2013年10月25日発行

●発行人 小林卓爾

●発行所 (株) スリーエーネットワーク

営業広報部 Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 日本印刷(株)

© 2013 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁無断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第68号は2014年1月25日発行です。